



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2020.1.8(No.3033)
週報 No. 24

楽しいロータリーでつながろう

第2560地区ガバナー／大谷 光夫
 会 長／若槻八十彦
 会長エレクト／野崎喜一郎 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／小出子恵出
 幹 事／柳 取 崇 之
 S A A／中 條 克 俊
 会 計／西 山 徳 芳
 直 前 会 長／松 永 一 義
 会長ノミニ／明田川賢一 (クラブ奉仕B)
 例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
 E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

- 本日の出席会員数:58名中50名
(名誉会員 高橋一夫さん含む)
- 先々週出席率:91.38%

【ゲスト】

・三条市長 國定勇人 様

【ビジター】

- ・地区奨学生 高橋映華さん
- ・米山記念奨学生 ゴーグエンチー チュン君

【先週のメイクアップ】

【12.19】 三条東RCへ

- ・加藤紋次郎さん、山田富義さん、
- ・衛藤泰男さん、 中沢真幸さん

【12.20】 RLI推進委員会へ

- ・関川 博さん

【12.23】 三条南RCへ

- ・石橋育於さん、 荻根澤隆雄さん、
- ・山田富義さん、 加藤紋次郎さん

【12.26】 三条東RCへ

- ・斎藤弘文さん、 加藤紋次郎さん、
- ・石橋育於さん、 丸山行彦さん、
- ・山田富義さん、 荻根澤隆雄さん、
- ・中林順一さん、 野崎喜一郎さん

【1.6】 三条南RCへ

- ・加藤紋次郎さん、石橋育於さん



2019～2020 年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

若槻八十彦 会長



皆さま、新年明けましておめでとうございます。本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。

本日は新年恒例であります、三条市長 國定勇人様よりの卓話をいただきます。國定市長様には、新年早々のお忙しい中、誠にありがとうございます。三条ロータリークラブ会員一同、市長の卓話を毎年楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

気がつけば、私どもの年度もあつと言う間に半年が終わりました。

振り返ってみますと、たくさんの行事がありました。中でも12月7日に開催いたしました当クラブ主催の社会奉仕事業「認知症三条市民フォーラム」が盛会の内に終えることが出来まして、心から安堵しております。

そして後援をいただいた三条市、特に高齢介護課の皆さまからのご協力とご尽力に対しましては心より感謝を申し上げます。この場を借りて國定市長様に御礼申し上げます。ご協力、誠にありがとうございました。

本日は、新年最初の例会ということで、高橋一夫名誉会員からもご出席をいただきました。どうぞごゆっくりお過ごし下さい。

米山記念奨学生チュン君、ようこそ。そして、ロータリー財団地区奨学生の高橋映華さんが留学先のアメリカから一時帰国してられて、挨拶に来てくれました。高橋さんようこそ。

今日は、盛りだくさんの内容となっておりますので、以上で会長あいさつとさせていただきます。

幹事報告

柳取崇之 幹事

◎国際ロータリー日本事務局より

「1月ロータリーレートのご案内」

1月1日より 1ドル=110円（現行108円）

◎第2740地区 千葉ガバナーより

「九州北部豪雨災害ご支援の御礼と報告」

◎大谷ガバナー事務所より

「ガバナー月信1月号発行のお知らせ」

◎吉田RRCより

「今年度の会長についてのお知らせ」

富所会長が病氣療養のため、前年度会長の阿部正夫会員が1月からの会長に決定致しました。

◎地区事務所より

「第2回米山記念奨学委員長セミナーのご案内」

日 時 2月1日(土) 13:00~16:00

会 場 万代シルバーホテル

◎第2530地区 芳賀ガバナーより

「復興フォーラムのご案内」

日 程 3月21日(土)~22日(日)

場 所 福島市

◎村上RCより

「創立60周年記念式典のご案内」

日 時 4月12日(日) 13:30~16:45

会 場 大観荘せなみの湯

◎燕RCより

「創立60周年記念式典のご案内」

日 時 4月25日(土) 14:30~17:30

会 場 燕三条ワシントンホテル

ニコニコBOX

高橋一夫名誉会員

あけましておめでとうございます。

今年もよろしくお祈りします。

若槻八十彦会長

新年明けましておめでとうございます。

國定市長様の卓話に期待しています。よろしくお祈りします。

渋谷健一さん

新年おめでとうございます。

私こと 第2560地区のロータリアンとして、長寿・永年在籍の年数にまたひとつ年を加算することになりました。

本年も宜敷くお祈り申し上げます。

高橋 司さん

あけましておめでとうございます。

本年もよろしく。

杉山幸英さん

謹賀新年、皆様 本年もよろしくお祈り致します。

(ハガキ代 ¥63×60人)

斎藤弘文さん

1) 祝賀会本当にありがとう御座居ました。感謝しております。

2) 本年も宜しくお祈り致します。

3) 國定市長様ありがとうございます。

中村信一さん

新年あけましておめでとうございます。

よい一年になります様に。

市長、卓話ありがとうございます。

小出子恵出さん

明けましてお目度とうございます。

雪のない正月、雪降しの心配がないので沢山呑んでしまいました。ブレーキが利く年にしたいです。

荻根澤隆雄さん

明けましてお目出度うございます。

本年も宜しくシンクロさせて下さい。

柳取崇之さん

あけましておめでとうございます。

1月2日、6人目にして、初の女の子の孫が誕生しました。元気に育ってくれる事を祈ります。

國定市長、本日は宜しく御願ひします。

野崎喜一郎さん

あけましておめでとうございます。

今年も良い一年であることを祈っています。

西山徳芳さん

あけましておめでとうございます。

ニューイヤークンサートへ行ってきました。今年もハッピー。

樺山 仁さん

明けましてお目出度御座居ます。
本年もよろしくお願ひ致します。
本日は青空高く春が来た様です。

菊池 渉さん

雪のない正月を嬉んでいます。
今年もよろしくお願ひします。

金子俊郎さん

明けましておめでとうございます。
会員の皆様にとって今年も良い年でありますように！

五十嵐晋三さん

國定市長、高橋名誉会員、歓迎申し上げます。
皆さん本年もよろしくお願ひします。

落合孝夫さん

明けましておめでとうございます。
令和2年もよろしくお願ひします。

梨本次郎さん

新年あけましておめでとうございます。
オリンピックイヤー、コソボ共和国の受け入れ含めて張り切って行きましょう。
國定市長様、本日の卓話ありがとうございます。

歸山 肇さん、衛藤泰男さん、船越良則さん、

松永一義さん、佐野勝榮さん、中條克俊さん

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。
三条市長 國定勇人様、本日は卓話ありがとうございます。

野水靖之さん、石倉政雄さん、中沢真幸さん、

小越憲泰さん、神子島正樹さん、丸山行彦さん、

明田川賢一さん、吉井直樹さん、小林卓哉さん、

安達俊明さん、伊藤寛一さん、石橋育於さん、

渡辺勝利さん、長谷川正実さん、早川滝徳さん、

小林吾郎さん、渡辺良一さん、五十嵐博宣さん、

石黒良行さん、山田富義さん、中林順一さん、

米山智哉さん

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

1月8日分 ¥ 87,000
今年度累計 ¥ 781,650

「卓話」

「県央基幹病院について」



三条市長 國定勇人 様

12/28に県央基幹病院のことで重要な意思決定がなされました。このことについて皆さんにも現状を知って頂きたく、講話の時間の大半を使ってお話をしたいと思います。

この県央地域は高度な救急医療を提供する3次救急はおろか、24時間体制で救急患者を受け入れることのできる2次救急でさえ自己完結することのできない稀有な地域として県内では有名な地域です。

それを受け、平成18～19年頃より、せめて2～2.5次救急については県央地域内で受け入れができるようにしたいという議論が起り始め、様々な形で救命救急センターを県央地域に造るための要請、要望活動が展開されてきました。

救命救急センターとは20床程度の規模で、24時間、365日体制で生命の危険に瀕する症状を急きよ発症した患者さんを概ね受け入れ、しっかりと対応できる施設のことを指します。

そして、この施設には救急搬送された患者さんに高度な医療を提供できる診療科別の医師が必要不可欠です。わずか20床程度の救命救急センターにこれらの医師が張りつく状態を維持するためには、その背景に巨大な床数を有する急性期医療病院が必要となり、さらにはその急性期医療病院の後方支援を行う病院が複数必要で、いわば救命救急センターを持つためにはこれらの病院とセットで考えなければなりません。

これらをひっくるめ県央基幹病院と呼んでいるわけですが。高度な医療を速やかに行うために病院を造りましょうということです。

具体的には450床の県央基幹病院を令和5年までに造りましょうという基本的な構想になります。

私たちはこの基本計画に基づき、粛々淡々と整備が進んでいくものと期待をしていたのですが、昨年になって突然、この県央基幹病院整備基本計画の見直しが打ち出されました。

突如として新潟県が県央基幹病院を造らないか、大幅縮小させて欲しいと言ってきたのです。これを受けて三条市としては相当振り回される一年となりました。

この基本計画見直しの発端は危機的状況にある県の財政難によるわけですが、県民の命とお金の話は同列に語れないわけですから、県としては地域医療

を巡る環境がここ数年間で大きく変化してきているので、その変化に対応した病院になるように見直しを掛けましょう、というように言い方を変えてきました。

それでは、私たちを取り巻く地域医療の環境がどのように変化してきたかを見てみましょう。

こちらの資料にあるように、県央2次医療圏の圏域外搬送率は平成21年の18.5%から平成30年は25.8%へと7.3%ポイントも飛躍的に悪化しています。県全体の平均が5.5%でしかありませんので、この数字は極めて悪い数字と言えらると思います。

圏域外搬送の件数においても同じく1,187件だったものが2,213件へと1.86倍も増加しています。

救急搬送をする収容先の病院というのはできるだけ近いところが理想であり、同じ2次医療圏にある病院が受け入れるのが望ましいわけですが、そうではない傾向に悪化している状況であります。

資料1

また、次の資料にあるように、救急搬送時間についても平成30年は平成21年から比べて11.5分も増加しており、10分以上も悪化しています。

資料2

そして、救急搬送の時間が一番影響を与えるのではないと言われる心疾患の標準化死亡比の変化は新潟県全体で平成23年対平成30年比は0.4ポイント悪化しているのに対して、県央圏域では2.0ポイントも悪化しています。

資料3

つまりは、私たちを取り巻く地域医療の環境は悪化する一方で、一向に収束する気配がありません。

そこで、昨年暮れに行われた県地域医療構想調整会議では、三条市に関する医療関係者からこうした悪化する県央地域の医療環境の現状を強く訴えてもらい、会議内では病床の規模を400床程度で行こうということになりました。しかし、翌日の新聞では計画より病床数を減らした400床程度を上限に進めるという報道発表になってしまいました。

三条市としては400床程度と400床程度を上限という表現では大きな違いであると考えています。

マグネットホスピタルという専門用語がありません。医療従事者が働きたいと思われる環境を整えると、医師、看護師さんが磁石にひきつけられるように集まってくる病院のことです。

一般的には、一定の病床数を上回るとその魅力が飛躍的に高まり、向上心を持つ医師、看護師が自分の腕を試せるといふことで集まってくると言われていふます。

県央地域の医療関係者と意見交換を積み重ねていくと、この県央地域においてはその閾値は概ね420床相当規模以上との見方ではほぼ意見の一致をみており、最低でも400床以上は必要ではないかと考えていふます。

良いお医者さんを確保するためにはこの規模程度の床数がどうしても必要です。350床では症例が集まらず、良いお医者さんも来ないのです。

こうしたことから、三条市としては400床程度と400床程度を上限にという表現では大きな開きがあると考えておりますので、引き続きこの閾値の床数の実現を訴えて行きたいと考えております。

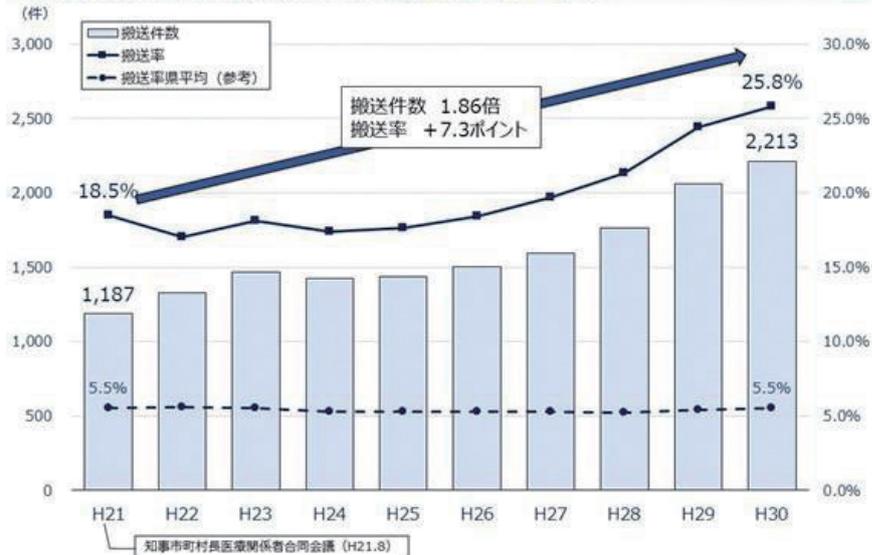
そもそも県央基幹病院の場所から見直した方が良いという話も近隣地域より浮上しているという話も耳にしますが、その議論を始めてしまったら二度とこの県央基幹病院の話が陽の目を見ることができなくなってしまうので絶対に避けるべきことだと思います。足並みがそろわなければ県としては好都合。地域の当事者でさえ意見がまとまっていないのに、このまま計画のとおりに進めることなどできるものかとなってしまいます。

この地域の課題である救命救急医療や高度・専門的医療の確保等のため、県央基幹病院を基本計画どおりに整備することを引き続き新潟県には訴えて行きたいと思ふますので、皆様からのご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

資料1

圏域外救急搬送件数及び圏域外搬送率の推移

1

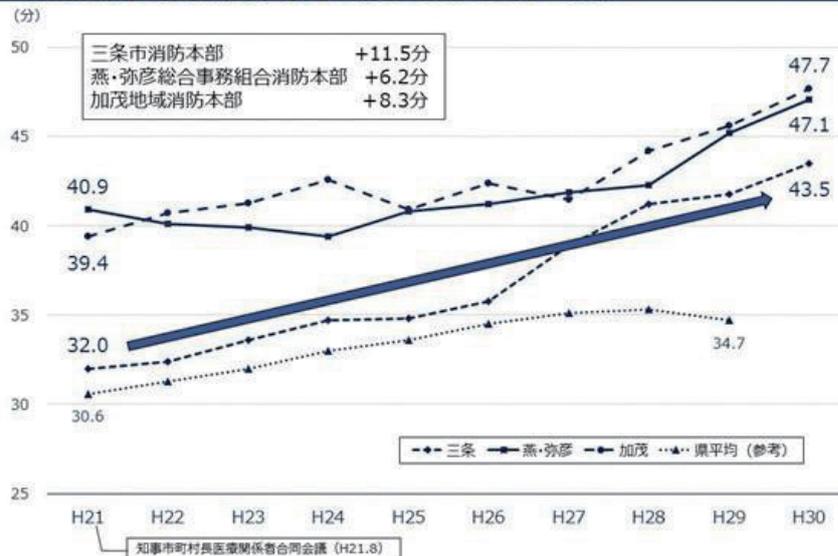


整備計画の当初の検討時からこれまでの間に圏域外への搬送件数及び搬送率は大幅に悪化

資料2

救急搬送時間(収容時間-現場到着時間)の推移

2

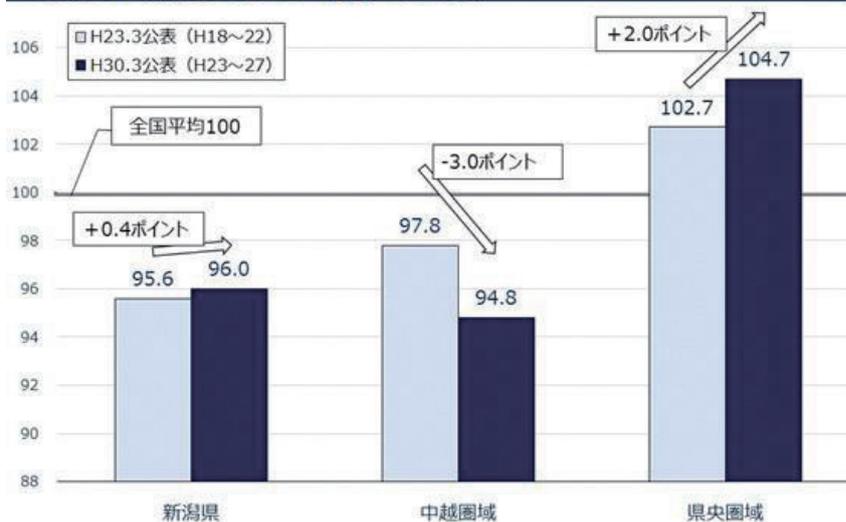


整備計画の当初の検討時からこれまでの間に全ての消防本部において救急搬送時間が増加

資料3

心疾患の標準化死亡比(男性)の推移

3



「新潟県」はほぼ横ばい、「中越圏域」は大幅減であるのに対して「県央圏域」は悪化



留学先のアメリカから一時帰国されている地区奨学生の高橋映華さんよりご挨拶をいただきました。



米山記念奨学生チュン君へ奨学金の授与

次週例会 1月22日 「外部卓話」
三条年金事務所 副所長 五十嵐寿行 様

次々週例会 1月29日 「施設見学例会」
於 三条市体育文化会館

